

新聞取材

『第1回
いなざわ手話フェスティバル』

JRC部

第1回
いなざわ手話フェスティバル
～広めよう手話言語! つなげよう未来!～

申込不要

みんなあつまれ!

入場無料

令和元年12月21日(土)

日時 10:00～11:30

場所 名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館) 中ホール ※定員500名

対象 どなたでも
※手話を知らなくても大丈夫!
まずは手話に触れてみよう!

イベント内容

- ・香和高等学校JRC部による手話パフォーマンス
- ・ショートムービーの上映とろう者のお話
～手話言語について
聞こえない人の日常生活に学ぶ～
- ・ミニ手話講座

お問合せ 稲沢市 市民福祉部 TEL 0587-32-1281
福祉課 障害福祉グループ FAX 0587-32-1219 主催 稲沢市



12月21日(土)開催の『第1回いなざわ手話フェスティバル』に出演するJRC部が、読売新聞の取材を受けました。生徒たちは、掲載される写真撮影時はずいぶん緊張した顔をしていましたが、手話を始めたきっかけや練習の様子などを聞かれた時には、手話に対しての自分の考えをしっかり答えていました。12月19日以降の朝刊に掲載予定です。

稲沢市では、平成31年1月1日に「稲沢市手話言語条例」を施行しました。制定1周年を記念し、また手話を広く認知・普及させるために行われるフェスティバルで、JRC部が手話パフォーマンスを行います。『That's our hope ～手話言語条例制定後の今～』と題して、手話劇と手話歌を披露します。

私たちは日頃、手話サークルのろう者の方に手話講習会を開いて頂き、手話で日常会話ができるように勉強しています。そして、各所で手話パフォーマンスを披露し、手話を広める活動をしています。

皆さんも、手話を覚えてみませんか?